藤塚小学校PTA・藤塚浜保育園保育会
説明会　資料
平成 29 年 4 月 27 日教育総務課作成

1　望ましい教育環境とは

児童・生徒数も**減少**し学校の**小規模化が年々顕著**となってきた。
（資料編１）　（資料編２）

↓

学校の小規模化が子ども達の教育にどのような影響を与えるのか？
望ましい教育環境とはどのような環境なのか？

平成２０年９月　**教育制度等検討委員会**を設置　⇒　平成２１年５月に**市へ提言**
（資料編３）　（資料編４）

子ども達が、成長過程を経て人間形成を図っていく中で、どのような学校規模で過ごすかは、将来、社会生活を営むうえで必要な社会性や協調性の育成に重要である。

市教育委員会では、この提言を受けて、望ましい教育環境とは、**ある程度の規模の中で**学ぶことによって、仲間づくりや学習活動、スポーツ等を通じて、自ら学び考える力、健康で豊かな心を、活気あふれる学校環境の中で育んでいくことにあると考えます。

平成22年3月「新発田市立小・中学校の望ましい教育環境に関する基本方針」

『１学年２学級以上、１学級２０人以上』

2　これまでの経緯

○平成 23 年 1 月 23 日、30 日「新発田市立小・中学校の望ましい教育環境に関する基本方針」を米子小学校区（米子小学校ランチルーム）、藤塚小学校区（藤塚浜会館）、紫雲寺小学校区（地区公民館大ホール）で説明会を開催。
○平成 23 年 11 月 20 日、27 日にはこの基本方針に基づき、紫雲寺小学校・米子小学校・藤塚小学校の統合説明会を同じ会場で実施。（内容については 12 月に地区回覧）
○平成 24 年 1 月 22 日の真野原外公会堂での説明会を皮切りに、11 自治区で説明会を開催（1 月、2 月の内容については 5 月に地区回覧、3 月の内容については 7 月に地区回覧）
○平成 24 年 10 月には、平成 20 年に統合した加治川小学校のアンケート結果をお示しし、意見、感想を募集。
○平成 26 年には「紫雲寺地域自治会連合会・町内会役員と小学校PTA・保育園保育会正副会長により懇談会を 2 回開催し、平成 27 年 3 月には小学校PTAと保育園保護者会と合同でアンケート実施。
○平成 27 年も引き続き懇談会を 2 回開催し、12 月にはアンケート結果を地域と保護者に配布し、平成 28 年度に向けてこの懇談会から一歩進んだ組織を立ち上げる事となった。
○平成 28 年に入り、自治会連合会役員と調整を行い 7 月に「（仮称）紫雲寺地域の望ましい教育環境検討委員会」が立ち上がった。この委員会において、具体的に統合を検討するために名称を「紫雲寺地域統合小学校検討委員会」とし、今日に至る。11 月には「検討委員会だより（第 1 号）」を地域回覧した。

（資料編５）

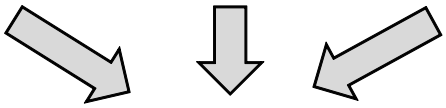
２ 紫雲寺中学校区で実現するためには

平成 33 年 4 月の見込み数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

	紫雲寺小学校			
	男	女	計	学級
1学年	10	14	24	1
2学年	14	10	24	1
3学年	14	15	29	1
4学年	14	14	28	1
5学年	14	9	23	1
6学年	12	9	21	1
	78	71	149	6

	米子小学校			
	男	女	計	学級
1学年	6	3	9	1
2学年	7	4	11	1
3学年	5	6	11	1
4学年	6	2	8	1
5学年	7	4	11	1
6学年	4	6	10	1
	35	25	60	6

	藤塚小学校			
	男	女	計	学級
1学年	9	8	17	1
2学年	13	11	24	1
3学年	8	3	11	1
4学年	10	14	24	1
5学年	12	14	26	1
6学年	5	6	11	1
	57	56	113	6



	統合小学校			
	男	女	計	学級
1学年	25	25	50	2
2学年	34	25	59	2
3学年	27	24	51	2
4学年	30	30	60	2
5学年	33	27	60	2
6学年	21	21	42	2
	170	152	322	12

３ 小学校の学級編成

県教育員会が定めた基準を標準とし、市町村教育委員会は児童の実態を考慮して学級編成を行う。（以下の基準は教職員配当数の算定基準学級数）

【算定基準学級数】
1　同学年の児童で編成する 1 学年は 35 人で、第 2 学年から第 6 学年までは、1 学級 40 人で編成した学級数とする。
　ただし、当該市町村教委が、第 1・2 学年に限り、1 学級 32 人で編成を希望する場合は 1 学級を 32 人で編成した学級数とする。

新発田市では１・２年生が 32 人学級、３～６年生が 35 人学級（40 人まで 1 学級）

４ 教職員の数（教職員の一般配当）

学級数	複式学級	校長	教頭	教務主任	教諭	養護教諭	事務職員
1	※	1人	-	-	1人	-	-
2	※	1人	1人	-	2人	-	-
3	3	1人	1人	-	3人	1人	-
4	2	1人	1人	-	4人	1人	1人
5	1	1人	1人	-	5人	1人	1人
6	-	1人	1人	-	6人	1人	1人
7	-	1人	1人	1人	7人	1人	1人
8	-	1人	1人	1人	8人	1人	1人
9	-	1人	1人	1人	9人	1人	1人
10	-	1人	1人	1人	10人	1人	1人
11	-	1人	1人	1人	11人	1人	1人
12	-	1人	1人	1人	12人	1人	1人

※飛び複式学級

↑
学級担任の他にもう１名の教諭の余裕

注）現在６学級でも１名の教務主任が配置されているが、これは一般配当ではないので、いつまでも配置されるという保証はない。

５ 具体的な統合の進め方

（１）統合にあたっては、今後も地域のみなさんと一緒に進めてまいります。

（２）課題については、「紫雲寺地域統合小学校検討委員会」と共に検討してまいります。

（３）今後のスケジュール（案）

平成 29 年度	統合に向けた機運の醸成
平成 30 年度～32 年度	課題解決、校名、校歌、ＰＴＡ体制
	教育課程の検討
	公共交通を含めた通学支援の検討
平成 31 年度	閉校記念式典実行委員会立ち上げ
平成 32 年度	3 校児童交流活動
平成 32 年 10 月頃	閉校記念式典
平成 33 年 4 月	統合小学校開校

資 料 編

1 生徒数の推移

	平成16年度	平成28年度 対H16年度		平成33年度見込み 対H16年度	
紫雲寺小学校	１９３	１７０	▲２３	１４９	▲４４
米子小学校	１３７	７９	▲５８	６０	▲７７
藤塚小学校	１３３	１０４	▲２９	１１３	▲２０
合計	４６３	３５３	▲１１０	３２２	▲１４１

2 学校の規模

	小学校	中学校
過小規模校	５学級以下	２学級以下
小規模校	６～１１学級	３～１１学級
適正規模校	１２～１８学級	
大規模校	１９～３０学級	
過大規模校	３１学級以上	

全学年の学級数の合計

3 教育制度等検討委員会

	委員区分	選出団体
	アドバイザー	敬和学園大学　学長
		新潟大学大学院自然科学研究科教授
1	第１号委員 （学識経験者）	新潟職業能力開発短期大学校校長
2		新発田商工会議所副会頭
3		新発田市社会教育委員
4	第２号委員 （地域団体代表）	新発田市自治会連合会常任理事
5		新発田市自治会連合会理事
6		新発田市自治会連合会理事
7		ボーイスカウト新発田第１段委員長
8		新発田市子ども連合会副会長
9	第３号委員 （保護者代表）	新発田市小中学校ＰＴＡ連合会会長
１０		新発田市小中学校ＰＴＡ連合会理事
１１		新発田市小中学校ＰＴＡ連合会理事
１２		新発田市小中学校ＰＴＡ連合会評議員
１３	第４号委員 （学校関係者）	新発田市小学校長会会長（外ケ輪小　校長）
１４		新発田市小学校長会副会長（御免町小　校長）
１５		新発田市中学校長会会長（第一中　校長）
１６		新発田市中学校長会副会長（本丸中　校長）
１７	第５号委員 （公募市民）	一般公募市民
１８		一般公募市民

４ 教育制度等検討委員会からの提言

【小規模校のメリット・デメリット】

	メ リ ッ ト	デ メ リ ッ ト
人間関係面	○　いじめや不登校が把握しやすく、指導もしやすい。 ○　子供同士、子どもと教師及び保護者（地域）と教師の間で、当事者意識や緊密な関係を築きやすい。 ○　異学年交流が盛んになり、助け合いなど濃密な人間関係が築ける。 ○　主役となれる機会が多く、自己存在感を得られやすい。 ○　地域の教育力がより活かせる。 ○　協調性や連帯感が生まれやすい。	○　人間関係が固定しやすく、新たな人間関係を築くことが難しい。 ○　多様なものの考え方が生まれにくい。 ○　成長のための刺激が薄く、視野を広げにくい。 ○　リーダーが育ちにくい。
教育指導面	○　個に応じた指導ができ、子どものもっている力を引き出しやすい。 ○　先生の目が行き届き、指導徹底が図りやすい。 ○　学校ぐるみ、地域ぐるみの活動に取り組みやすい。 ○　校風を浸透しやすい。 ○　基本的な生活習慣を身につけやすい。 ○　発表する機会や重要な役割を担うなど、一人ひとりの活躍の場が多い。 ○　施設、設備、教材など活用しやすい。 ○　活動場所の選定、活動内容や安全面における制約が少ない。	○　競争心、向上心を育みにくい。 ○　話し合いや集団活動の機会が少なく、チーム力を育みにくい。 ○　班やグループ活動での効果があまりあがらない。 ○　教師に頼ってしまい、子どもの自主性が育たない。 ○　体育や音楽など集団での学習が難しい。 ○　教師間で教育について討議する機会が少なく、独善的な指導に陥るおそれがある。 ○　教師の質が、直接子どもに影響する。
学校運営面	○　意思の疎通や共通の理解がしやすく、共同歩調で運営できる。 ○　学校の経営方針が徹底しやすい。 ○　少人数の職員配置で、小回りの利く経営と運営ができる。 ○　教員相互の連絡調整がしやすく、指導・方針を一つにまとめやすい。 ○　学校の施設・設備面で、環境を整えやすい。 ○　家庭からの協力を得やすい。	○　活気溢れる学校運営が難しい。 ○　地域の協力なしに学校行事が実施できない。 ○　教師の出張が多いと運営に支障をきたす。 ○　学校運営上、特に経費の面で非効率的である。 ○　少人数であるがゆえに、教員の創意工夫に限度がある。 ○　教師の専門性（担当教科）の面で支障が生じやすい。 ○　緊急時の対応が難しい。

小・中学校の現状を基にして、「子どもたちの望ましい教育環境」について検討を行い次の6つについて新発田市教育委員会に提言。

（1）望ましい学校規模

小規模校のメリット・デメリットの検証を踏まえ、子どもたちの将来を見据えた教育環境を考えたとき、望ましい学校規模として、“**学級数については、クラス替えができる１学年２学級以上、学級人数については、１学級２０人以上が望ましい**”。

（2）通学の在り方

通学支援については、現在目安としている片道の通学距離が、小学校４㎞ 以上、中学校６㎞ 以上という通学距離のみで判断することなく、通学実態を考慮した支援を行う。

（3）地域と学校の在り方

学校が地域において果たしてきた中核的・拠点的役割を十分考慮して、学校の適正規模化を進めるにあたっては、地域の実情に配慮した検討が必要である。廃校となった学校施設については、その活用について検討し、地域活性化に資するよう努める。

（4）学校規模適正化の方策

学校統廃合も視野に入れた通学区域の再編成（学区再編）を行う。この場合、１学年２学級未満の学校であっても、当該地域の実情を考慮し、学校存続について配慮する。

（5）学区再編の実施順序

学区再編は、学校の小規模化が著しい小学校区を優先し、中学校区については、小学校区の学区再編に一定の目処がついた時点で検討する。

（6）学区再編の再検討の必要

この提言は、提言の策定時における少子化の傾向と国・県の政策を踏まえて行ったものであり、将来、予測を超えた状況の変化があったときは、再度検討する必要がある。

5　これまでの経緯

	日時	会場
平成２３年度	11 月 20 日（日）午前 10 時	藤塚浜会館
	11 月 27 日（日）午前 10 時	米子小学校ランチルーム
	〃　　午後 1 時半	紫雲寺地区公民館大ホール
	12 月 1 日回覧文書	**11 月 20 日,27 日の説明会報告**
	1 月 22 日（日）午前 9 時	真野原外公会堂
	1 月 29 日（日）午前 9 時	二ツ山公会堂
	〃　　〃	河岸場集落開発センター
	〃　　午後 1 時半	米子公会堂
	〃　　〃	小川集落開発センター
	2 月 19 日（日）午前 9 時	紫雲寺地区公民館　視聴覚室
	〃　　〃	上真中ふれあいセンター
	〃　　午後 1 時半	大島第一公会堂
	2 月 20 日（月）午後 7 時	藤塚小学校　音楽室
	5 月 1 日回覧文書	**1 月、2 月説明会報告**
	3 月　8 日（木）午後 7 時	米子小学校ランチルーム
	3 月 19 日（月）午後 7 時	藤塚小学校　音楽室
平成２４年度	**7月 15日米子小、藤塚小保護者文書配布**	**3月説明会報告**
	10 月 31 日	**藤塚小学校・保育園保護者へ加治川小学校統合に関するアンケートの意見・感想募集**
平成２６年度	7 月 17 日（木）午後 7 時	紫雲寺地域自治会連合会・町内会役員と小学校ＰＴＡ・保育園保育会正副会長懇談会
	10 月 23 日(木)午後 7 時	紫雲寺地域自治会連合会・町内会役員と小学校ＰＴＡ・保育園保育会正副会長懇談会
	3 月 16 日（金）	アンケート実施（配布数 478 枚）
平成２７年度	10 月 27 日（火）午後 7 時	紫雲寺地域自治会連合会・町内会役員と小学校ＰＴＡ・保育園保育会正副会長懇談会
	10 月 29 日（日）午後 1 時半	紫雲寺地域自治会連合会・町内会役員と小学校ＰＴＡ・保育園保育会正副会長懇談会
	12 月 22 日(火)紫雲寺地域小学校・護者会だより配布	**アンケート結果公表**
	1 月 19 日付教総第 1429 号	（仮称）紫雲寺地域の望ましい教育環境検討委員会への委員の選出について（お願い）

平成２８年度	4 月 7 日（木）午後 7 時	紫雲寺地域自治会連合会第 1 回役員会へ委員選出の説明
	5 月 13 日（金）午後 7 時	紫雲寺地域自治会連合会第 2 回役員会へ委員選出の依頼
	7 月 21 日（木）午後 7 時	（仮称）紫雲寺地域の望ましい教育環境検討委員会
	10 月 4 日（火）午後 7 時	第 2 回紫雲寺地域統合小学校検討委員会
	紫雲寺地域統合小学校検討委員会だより（第 1 号）回覧	
	12 月 13 日（火）午後 7 時	第 3 回紫雲寺地域統合小学校検討委員会
	3 月 15 日（水）午後 7 時	第 4 回紫雲寺地域統合小学校検討委員会
平成２９年度	4 月 27 日（木）午後 7 時	藤塚小学校 PTA・藤塚浜保育園保育会　合同説明会